



施設別事業計画 4

光明荘



運営方針

オール光明荘で取り組む支援の定着

- 「根拠ある個別ケアの定着」
ACP を基盤とし、ご本人の意向と見守り支援機器を活用しながら、チームで評価・検討を重ね、ご利用者にとって満足度の高いケアを実践します。
- 「地域コミュニティでの活動の定着」
子どもから高齢者まで、すべての世代を対象に、必要なサービスを提供する体制を整え、複数の居場所づくりに取り組みます。
- 「職員の働きやすさの定着」
光明荘の可能性を広げるためのワーキングチームを発足します。
ICTをさらに推進し業務効率と生産性の向上、和みの空間作りを目指します。



重点項目

認知症チームケアの推進

- 認知症チームケア推進研修者の養成を進め、ご本人・ご家族の意思を反映しながら、多職種が協働してBPSD（行動・心理症状）の予防と早期対応を行う体制を整えます。
- 見守り支援機器のデータを評価指標にBPSDに特化したケア計画を個別に作成し日中活動へアプローチすることで、個別ケアの充実とその人らしい暮らしの実現を目指します。
- BPSDの緩和に有効なツールとして、コミュニケーションロボットを導入します。孤独感の軽減や安心感を提供し、ご入居者や職員にとって和やかな空間づくりに繋がります。

中期経営方針に沿った在宅事業の強化推進

- 居宅介護支援事業所の大規模化を図り、提供エリアの拡充と新たな顧客層の獲得によって在宅事業の強化を目指すとともに隣接地域への事業所開設に向けて準備を進めます。
- デイサービスでは、短時間利用や介護予防プログラム等のアクティビティの充実、障がいサービスの拡充を通じて新規利用者を獲得し、“選ばれるデイサービス”を目指します。
- 訪問介護においては、人材確保と定着の一環として、ICT導入による業務効率化を進め、さらに他事業とのタスクシェアリングや特定技能外国人の従事について推進します。

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

- 特養では、見守り支援機器aamsと危険予知AIを併用することで迅速な対応を可能にし、事故減少に繋がります。
- 居宅において音声データをAIにより要約することで、訪問時のアセスメントに専念し、利用者の意向を的確に把握した支援計画の策定およびマネジメント力の向上へ繋がります。
AI要約やシステム運用を圏域内で定着させ他法人とも連携することで、事務費削減と業務効率化を一層進めます。そのための勉強会を主催し、先発的な取り組みを展開します。

地域における公益的な取り組みの推進

- 包括では多様な地域課題解決に向け民間事業者も含めたネットワーク構築に取り組みます。各分野による支援と繋がりを重ね、重層的かつ継続的に支え合う仕組みを構築します。
- 中間世代を含む未周知層との関わりを深めるアウトリーチを行い、生活課題や困りごとを抱える人を早期にネットワークへ繋げることで、孤立しない地域づくりに取り組みます。

ステップアップ事業



光明荘の強みの深化と新たな可能性の創出

- 昨年度より実施している育成スキームの構築と定着に向けて、より多くの職員が他部署での体験を通じて個々の強みを伸ばせるよう、内容のブラッシュアップを行います。
- 他職種・他事業所での体験を通じて、新たな資格取得への意欲やタスクシェアリングにつなげます。施設全体の活性化を図り、一体的なチームケアへの発展に取り組みます。

達成目標 複数の事業所で活躍できる人材を養成し、事業所間のタスクシェアリングに繋がります。

- 光明荘の新たな可能性を検討するため、ワーキングチームを発足します。雇用形態や職種を問わず幅広く構成し、未着手の事業提案や既存事業の改善に取り組みます。
- ニーズの把握から実施内容の組み立て、効果の検討を重ね、多様な意見を出し合うことで、コミュニケーション力と問題解決力を高め、実践的な学びの場とします。

達成目標 アイデアを形にしていくことで、働く楽しさとモチベーション向上を目指します。検討内容については発表の場を設け、次年度の新たな事業展開に繋がります。

地域公益事業

子どもから高齢まで 全世代を対象とした居場所の形成

- 子どもの居場所「ヒミツキチふせや」では、小学生だけでなく中高生を対象とした無料自習室を開放し、年齢層の多様化を図ります。
また、介護保険サービスを利用していない方や、周囲とのつながりが希薄な方を対象に、デイサービスの浴場を開放するとともに、外出が難しい方には送迎支援を行います。大浴場での入浴や介護予防指導士による簡単なレクリエーション・体操などを通して、地域でのつながりを感じてもらう機会を創出し、デイサービス機能の一部を地域へ還元します。さらに、三丁目カフェでは、認知症カフェに加え、地元野菜や授産品の販売、キッチンカーなど関係団体との連携を通じて、世代を問わず誰もが気軽に集える居場所づくりを目指します。

取組効果 関係機関と協働することで地域全体で多世代を対象とした居場所の活性化が図られます。住民同士が繋がりを深め、1人で抱え込まない、孤立しない地域づくりを促進させます。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム光明荘（定員120名）
- 短期入所生活介護（定員20名）
- 光明荘デイサービスセンター（定員40名）
- 光明荘ヘルパーステーション
- 光明荘居宅介護支援事業所
- 光明荘訪問看護ステーション
- 特別養護老人ホーム光明荘診療所
- 福祉有償運送
- （和泉市委託事業）
- 光明荘地域包括支援センター
- 光明荘認知症機能強化型地域包括支援センター
- 光明荘いきいきネット相談支援センター